

事業概要

松江市、雲南市、隠岐4町村のエリアで本共同企業体が**当該地域に本社・支店のある企業と国内外の企業・団体等とビジネスマッチング**を行う事で複数回の来訪を促す。(学生に対しては、魅力化教育をフックに以下同様)
 来訪者に対して**暮らすように働ける(学べる)環境づくり**を常に行うことで**企業誘致はもとより、移住・定住が増える**ことで地域力を高めていく。
SDGsを切り口に農産品の生産者、海洋環境保全活動に取り組む若者、伝統産業の復活に取り組む企業などとの交流の場を儲け、人と人が向き合える時間をつくり繋がりを深める。滞在中は、「**暮らすように滞在**」していただき拘束する時間を極力無くし、公共交通・レンタサイクル等利用しやすく整え、フリーで活動してもらう。モニターの行動履歴を詳細に収集、また、SNS等により情報発信するなど繋がりを深めていき自発的な来訪を意識を高める。

ターゲット及びターゲットへのアプローチ方法

ビジネス研修モニター(10名)⇒車メーカー、食品機器メーカー直接アプローチ
 教育旅行モニター(10名)⇒首都圏大学に直接アプローチ

実施するモニターツアーまたはプログラムの内容

モニターツアー(最大6泊7日・1人1回/5人~10人/2~4回、最大20名、参加費無料)／体験内容(固定:柿農家・たたら他体験・交流、選択:文化・自然・まち歩き等体験・交流)このほかは基本フリーとし各自が滞在しやすいよう細かな地域情報を提供、コンシェルジュも設ける。この地域事態と滞在手法、おもてなし内容が来訪者にどれだけ響くのかを検証する。

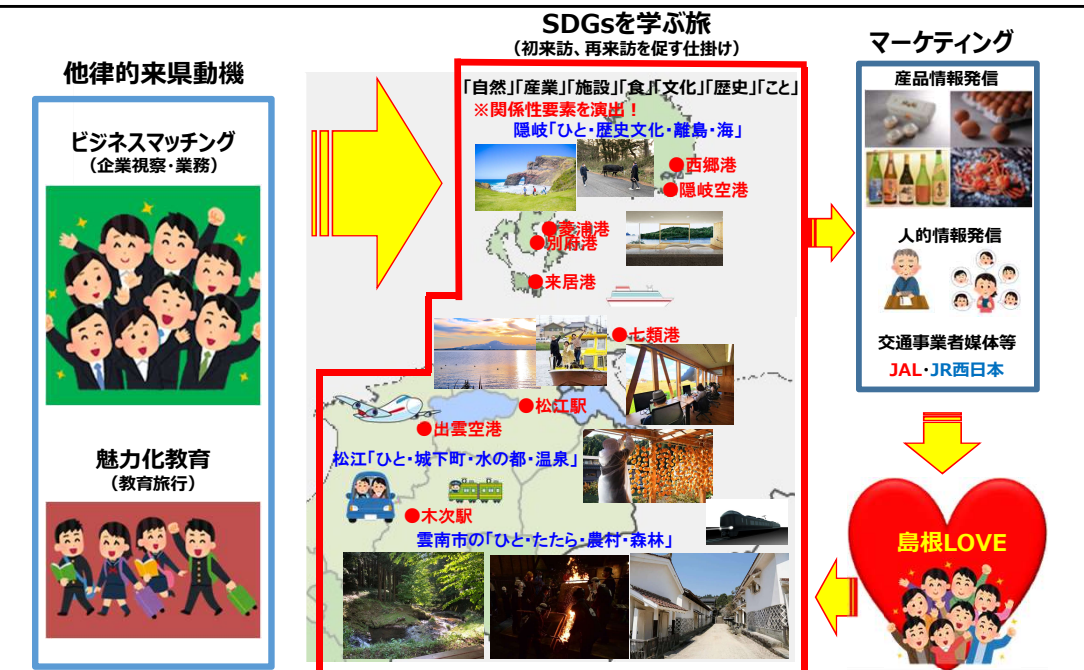
取組内容

③「何度も地域に通う旅、帰る旅」に求められる滞在・移動環境の整備
重点的に取り組む機能 (ヤド ・ マチ ・ アシ)

- マチ・滞在時のワーク環境の提供(施設・通信・電源)
 - 滞在期間のコンシェルジュ及びまち情報ツールの提供
 - 文化、歴史、自然、産業等の体験コンテンツの提供とコアバリューの確立
- アシ・二次・三次交通の調査・企画立案
 - サブスクの仕組み企画・立案

実施体制

事業主体：島根観光共同企業体設立準備協議会→事業事務局
 連携自治体：松江市、雲南市、西ノ島町、海士町、知夫村、隠岐の島町
 →滞在環境整備
 連携DMO：(一社)隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会、
 (一社)中海・宍道湖大山圏域観光局→滞在環境整備
 実施主体：Expe、たなべたたらの里、さんれいフーズ、離島百貨店、海士、
 山陰観光開発、隠岐汽船、日本航空、西日本旅客鉄道、JTB
 →戦略策定支援、経理、情報発信、移動環境整備、滞在環境整備



今年度事業の目標・KPI

- モニターツアー：①企業研修ツアー：2回(計10名程度)、②教育研修ツアー：2回(計10名程度)→参加率100%
- アンケート・ヒアリング回収：参加事業者全員、参加者全員→回収率100%
- 再来訪意欲：再来訪したい30%、ぜひ再来訪したい30%、再来訪する20%

事業名：「しまね版SDGsの旅」から始まる何度も島根に通う旅、帰る旅の実現 【島根県松江市他1市3町1村】

実施内容

モニターツアー 4回

学生向けツアー（2回）

Aコース 自然と共に豊かな暮らし(隠岐・松江エリア)

Bコース 暮らしを支える水の恩恵を学ぶ(雲南・松江エリア)

企業向けツアー（2回）

Aコース 自然と共に豊かなくらし・ワーケーション(隠岐・松江エリア)

Bコース たたら吹き体験とワーケーション(雲南・松江エリア)

重点的に取り組む機能（ヤド・マチ・アシ）

「何度も地域に通う旅、帰る旅」に求められる滞在・移動環境の整備

マチ・滞在時のワーク環境の提供（施設・通信・電源）

- ・滞在期間のコンシェルジュ及びまち情報ツールの提供
- ・文化、歴史、自然、産業等の体験コンテンツの提供とコアバリューの確立

アシ・二次・三次交通の調査・企画立案

- ・サブスクの仕組み企画・立案

学生Aコース R4年9月5日～9月11日（6泊7日）

テーマ 自然と共に豊かな暮らし(隠岐・松江エリア)

参加人数 5名

募集方法 "法政大学の学生用WEB掲示板へ掲載関係者を通じて東京大学のゼミへ発信"

応募人数 49名(2コースの合計)

ターゲット 観光・まちづくりに興味をもつ学生

参加者負担費用 食費、体験、交通費、ワークスペース等にかかる上限50,000円超過分

ツアー概要（地域との交流）

- ・ 隠岐の島にて隠岐古典相撲の体験。
- ・ 松江市島根町にてビーチクリーンと課題解決ゲーム

アンケート結果(一部抜粋)

【まち】について

- ・ 隠岐エリア・・・隠岐古典相撲体験で初めてまわしをつけて土俵に入り100kgの方を相手に押した経験はかけがえのないものとなった。
季饗庵(宿)のオーナーだけではなく、自由行動中に立ち寄った先々で店主等が隠岐の魅力やお勧めスポットなどを熱心に教えてくれたことが嬉しかった。島で出会った人に会うためにまた訪問したい。

【あし】について

- ・ 隠岐エリア・・・レンタカーがリーズナブルでどこでも行けるので便利であった。反対に公共交通機関はほとんど観光に使えない。
- ・ 松江エリア・・・近場は自転車である程度行けるが、少し遠出する際は時間調整などあり自由度が減る。

●モニターツアーで印象に残ったことを3つずつ挙げていただいたが、男性参加者は全員「相撲体験」を挙げた。

まわしをつけて土俵に入ることが希有な体験であることに加え地域に根付く文化に深く入ることができるコンテンツであることが高評価の要因と考える。

●松江の交通について、まちの地位置関係や各種時刻表のURL等を予めまとめてLINEで提供していたことが役に立った。反対に観光客目線で交通情報をまとめたものや検索機能を有したサイトが必要

●カーシェアリングの利用が短時間の利用にとっても有効である。



学生Bコース R4年9月11日～16日（5泊6日）

テーマ 暮らしを支える水の恩恵を学ぶ(雲南・松江エリア)

参加人数 5名

募集方法 "法政大学の学生用WEB掲示板へ掲載関係者を通じて東京大学のゼミへ発信"

応募人数 49名(2コースの合計)

ターゲット 観光・まちづくりに興味をもつ学生

参加者負担費用 食費、体験、交通費、ワークスペース等にかかる上限50,000円超過分

ツアー概要（地域との交流）

- ・松江市矢田渡船運営 どっこい舎との交流



アンケート結果(一部抜粋)

【まち】について

- ・雲南エリア…感動するほどのレストランを見つけた。絶対にまた行きたい。訪問した先々でスタッフの方が丁寧に接してくれた。お勧めスポットを教えてくれた。
- ・松江エリア…街中ですれ違う人に挨拶されたこと、観光地の駐車場の警備員やお土産屋のおばさんと話をしたことが嬉しかったこととして印象に残っている

【あし】について

- ・雲南エリア…公共交通機関での周遊することは無理がある
- ・松江エリア…交通系ICカードが使えるか、バスの乗り方などをまとめたものが必要

●モニターツアーで印象に残ったことを3つずつ挙げていただいた中で、飲食店やお土産屋での交流について挙げた方が目立った。矢田渡船を活用したどっこい舎との交流については「密な交流ができて楽しかった」と評価していただいたものの、印象に残ったと挙げた人は前者より少なかった。

宍道湖や中海が当エリアに住む人にとって、自然、食、歴史、文化的にどのような関係であるのか、もっと分かりやすく丁寧に伝える必要があったと考える。



企業Bコース R4年9月21日～25日（4泊5日）

テーマ たたら吹き体験とワーケーション(雲南・松江エリア)

参加人数 5名

募集方法 企業へ声かけ

ターゲット 県外在住の企業人

参加者負担費用 食費、体験、交通費、ワークスペース等にかかる上限70,000円超過分

ツアー概要（地域との交流）

- ・たたら操業体験



アンケート結果(一部抜粋)

【まち】について

- ・雲南エリア・・・たたら吹き体験をする前まではたたらに関して知識も興味もなかったが実際に体験を通して田部のこと、まちのこと、たたらなことなど知らない情報をたくさん知ることができ知的好奇心が満たされた。
- ・松江エリア・・・昔ながらの景観が残っておりお城周辺を歩くだけでもとても良い気分転換になった。コワーキングスペースenunは設備(フォンブース、モニターの貸出し等)もデザインも素晴らしかった。

【あし】について

- ・雲南エリア・・・宿までの最終バスが16時台。車以外の交通手段が思いつかない。
- ・松江エリア・・・バスの路線が分かりづらい、タクシーは配車アプリに対応してほしいタイムズのような分単位で借りることのできるレンタカーが便利

- タクシーの配車、カーシェアなど交通インフラのデジタル化をすることで滞在期間中の移動の自由度・選択の幅が広がる
- ワーケーションについてenunの評価が高い。



企業Aコース R4年10月2日～6日（4泊5日）

テーマ 自然と共に豊かなくらし・ワーケーション(隠岐・松江エリア)

参加人数 5名

募集方法 企業へ声かけ

ターゲット 県外在住の企業人

参加者負担費用 食費、体験、交通費、ワークスペース等にかかる70,000円超過分

ツアー概要（地域との交流）

- ・松江市畑地区 干し柿農家との交流



アンケート結果(一部抜粋)

【まち】について

- ・ 隠岐エリア・・・初日のBBQで、地元の食材と地酒がこのうえなく美味しかった
季饗庵のオーナーのホスピタリティ程よい接客が心地よかった。
- ・ 松江エリア・・・enun利用の際に他の利用者とトラブルで非常に残念な思いをした
「地域の歩き方ガイド」の内容、コンシェルジュの対応が良く有意義な松江滞在になった。
交流を通して干し柿農家の集落での暮らしといろいろな側面を聞くことができ良かった。

【あし】について

- ・ 隠岐エリア・・・レンタカー利用が必須。季饗庵のような宿に泊まる場合夕食時にお酒が飲めなくなる。
- ・ 松江エリア・・・レンタサイクルで市内をめぐることができ良かった。電動自転車、フレキシブルに乗り捨てできるなどの仕組みがあれば尚良し。

- 季饗庵のオーナーやコンシェルジュにお勧めされたスポットに行き、その場所が非常に良かったという声が多数あった。隠岐に限った話ではなく、旅行者がタビナカで必要な情報を得られる仕組みづくりが必要である。
- ツアー中に出会う方との交流内容が旅の印象に大きく左右される。

